

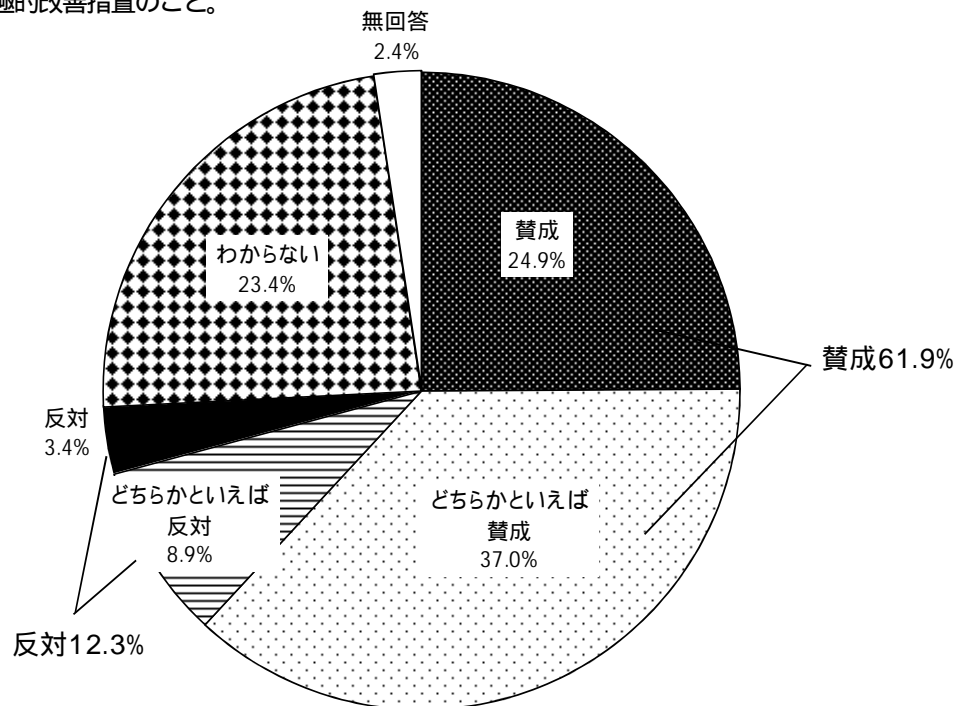
社会活動などへの参画

9．社会活動などへの参画

(1) ポジティブ・アクション(積極的改善措置)についての考え方

問18．あなたは、「ポジティブ・アクション」についてどう思いますか。該当する番号ひとつをつけてください。

男女の不平等を是正するため、女性があまり進出していない分野で一時的に女性の優先枠を設けるなどの積極的改善措置のこと。



ポジティブ・アクションについての考え方を聞いたところ、『賛成』が61.9%、『反対』が12.3%と、『賛成』の割合が6割を超えている。各選択肢では、『どちらかといえば賛成』(37.0%)と回答した割合が最も高く、『反対』(3.4%)とした割合が最も低かった。

【性別】

男女別では、『賛成』(女性60.6%、男性63.3%)と回答した割合は男性の方が若干高かったが、『反対』の割合は男性(18.4%)が女性(7.7%)より10.7ポイント高くなっている。女性では、『わからない』(29.6%)と回答した割合が高くなっている。

【年代別】

『賛成』と回答した割合は、70歳以上の女性と30代男性を除いた年代で男女とも5割を超えている。特に50代女性は、74.4%と最も高くなっている。

『反対』と回答した割合は、全年代で女性より男性が高くなっており、特に20代の男性(34.7%)と30代男性(31.1%)で高くなっている。

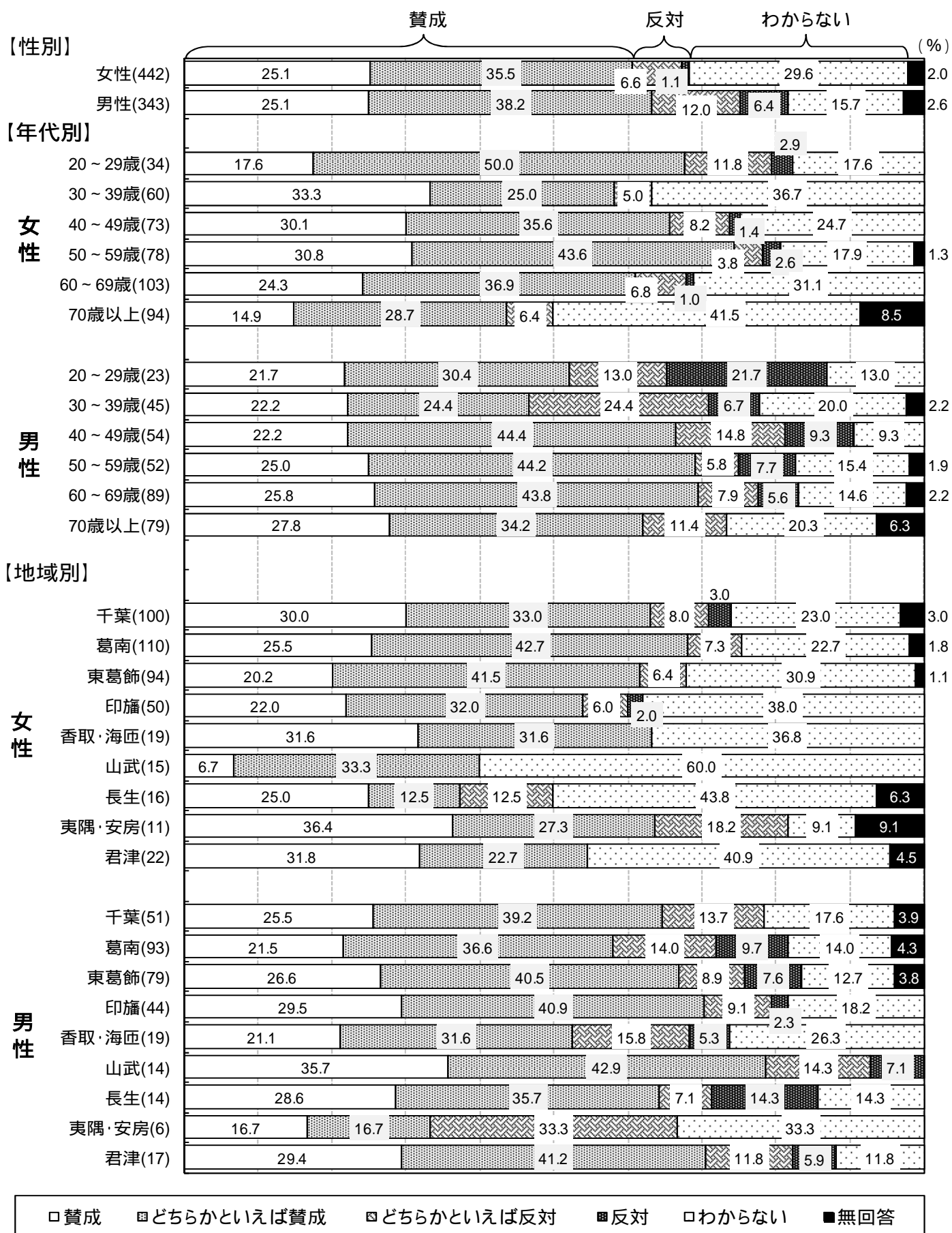
女性では、『わからない』と回答した割合が全年代で男性より高くなっており、特に30代(36.7%)と70歳以上(41.5%)で高くなっている。

【地域別】

地域別で見ると、『賛成』と回答した割合は、君津、印旛、山武地域の男性では7割以上になっている一方、長生地域の女性と夷隅・安房地域の男性では4割以下となっている。

地域別は該当者が少ない地域があるため参考とする。

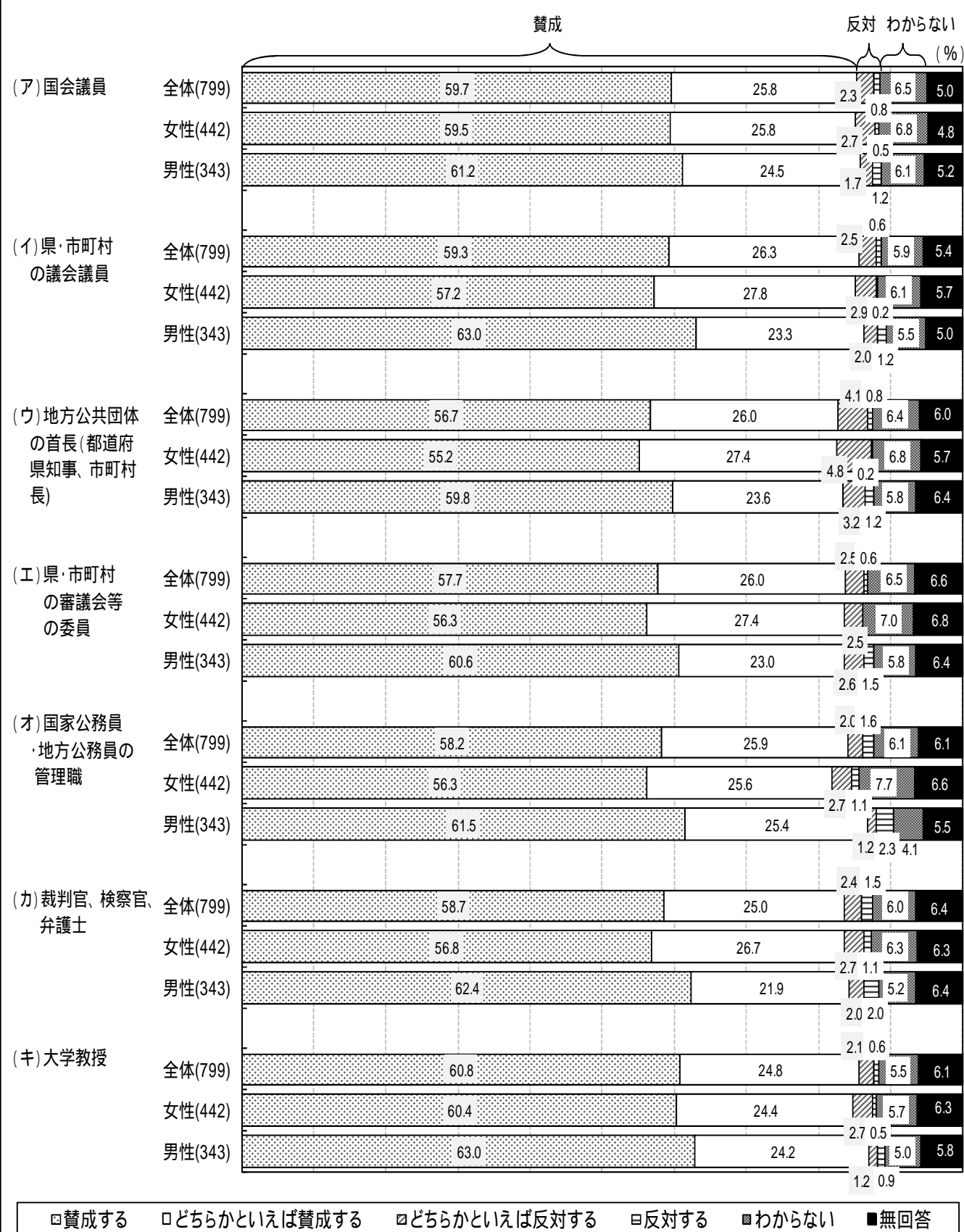
社会活動などへの参画



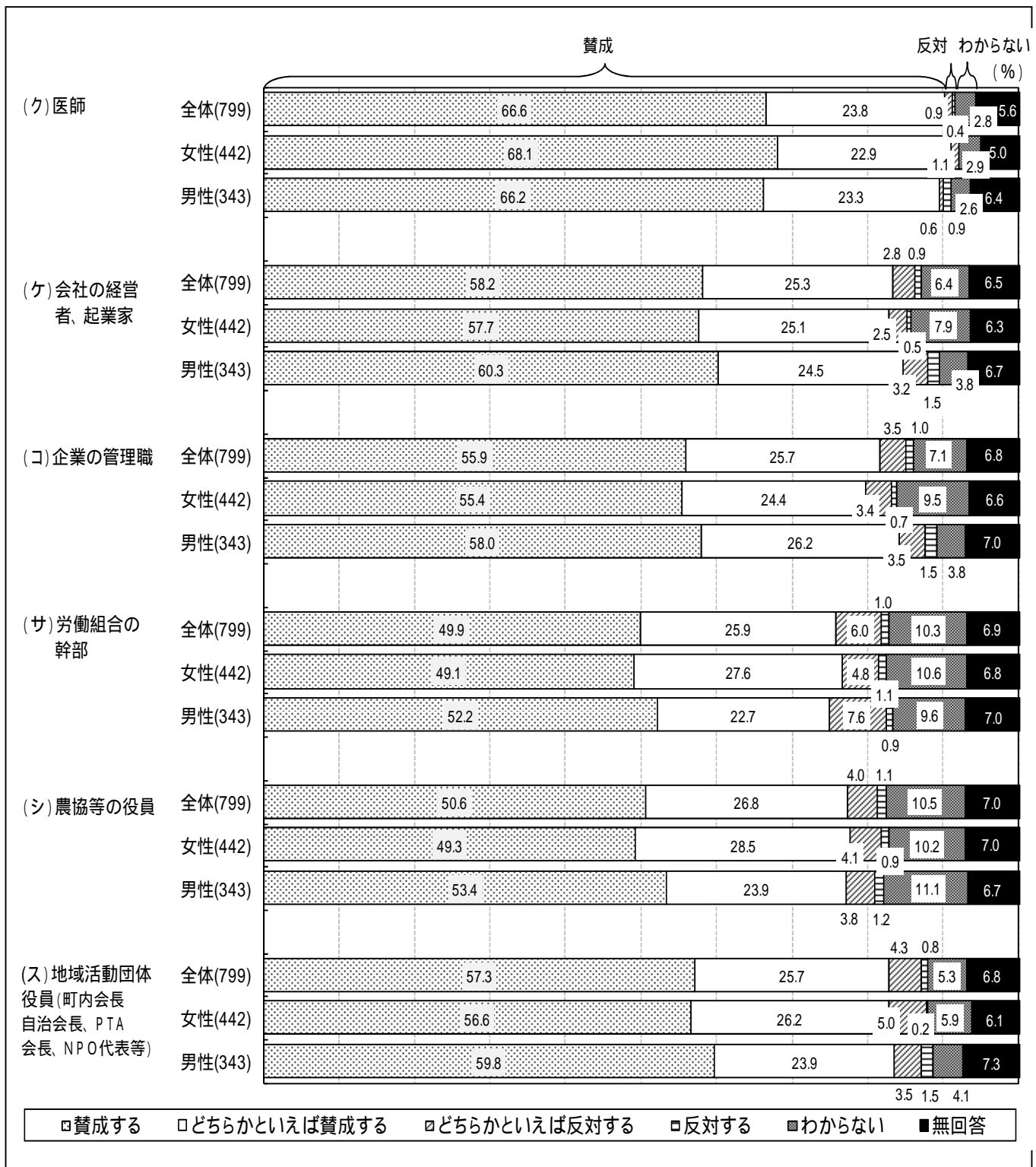
社会活動などへの参画

(2) 政策・方針決定にかかわる役職・公職への女性の進出についての考え方

問17. あなたは、次の(ア)～(セ)にあげるような役職・公職への女性の進出について、どのように
 思いますか。(ア)～(セ)それぞれについて一番近い考え方の番号ひとつに をつけてください。



社会活動などへの参画



「国会議員」、「県・市町村の議会議員」など13の役職・公職への女性の進出について聞いたところ、すべての役職・公職で『賛成する』と回答している割合が最も高く、ほとんどの項目で『賛成する』が8割を超えている。

『賛成する』と回答した割合は、男女でそれほど大きな差はない。(サ)労働組合の幹部と(シ)農協等の役員については、他の項目に比べると、男女双方とも『賛成』と回答した割合は低くなっている。

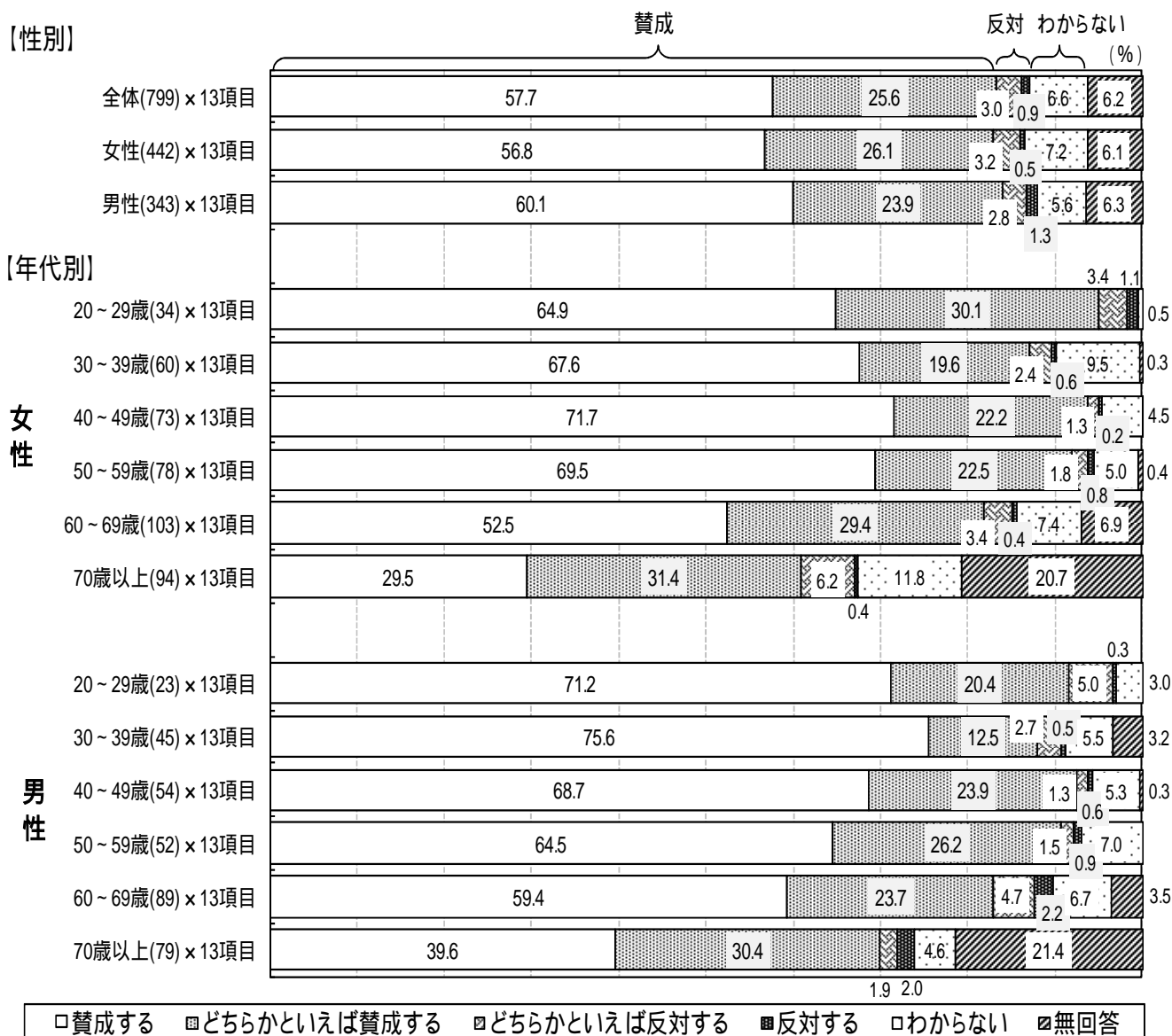
「(セ)その他」の項目として、内閣総理大臣、歌舞伎(役者)、相撲などがあげられている。

社会活動などへの参画

【性別・年代別】 13項目の総計

(ア)～(ス)の13項目を総計したものを性別で見ると、男性、女性どちらとも『賛成』と回答した割合が8割を超えている。女性(82.9%)よりも男性(84.0%)の方が『賛成』と回答した割合が若干高くなっているが、男女でそれほど大きな差はない。

年代別で見ると、70歳以上女性で賛成(60.9%)と回答した割合が最も低くなっている。『賛成』とした割合が最も高かったのは20代の女性で、『賛成』と回答した割合は、95.0%となっている。

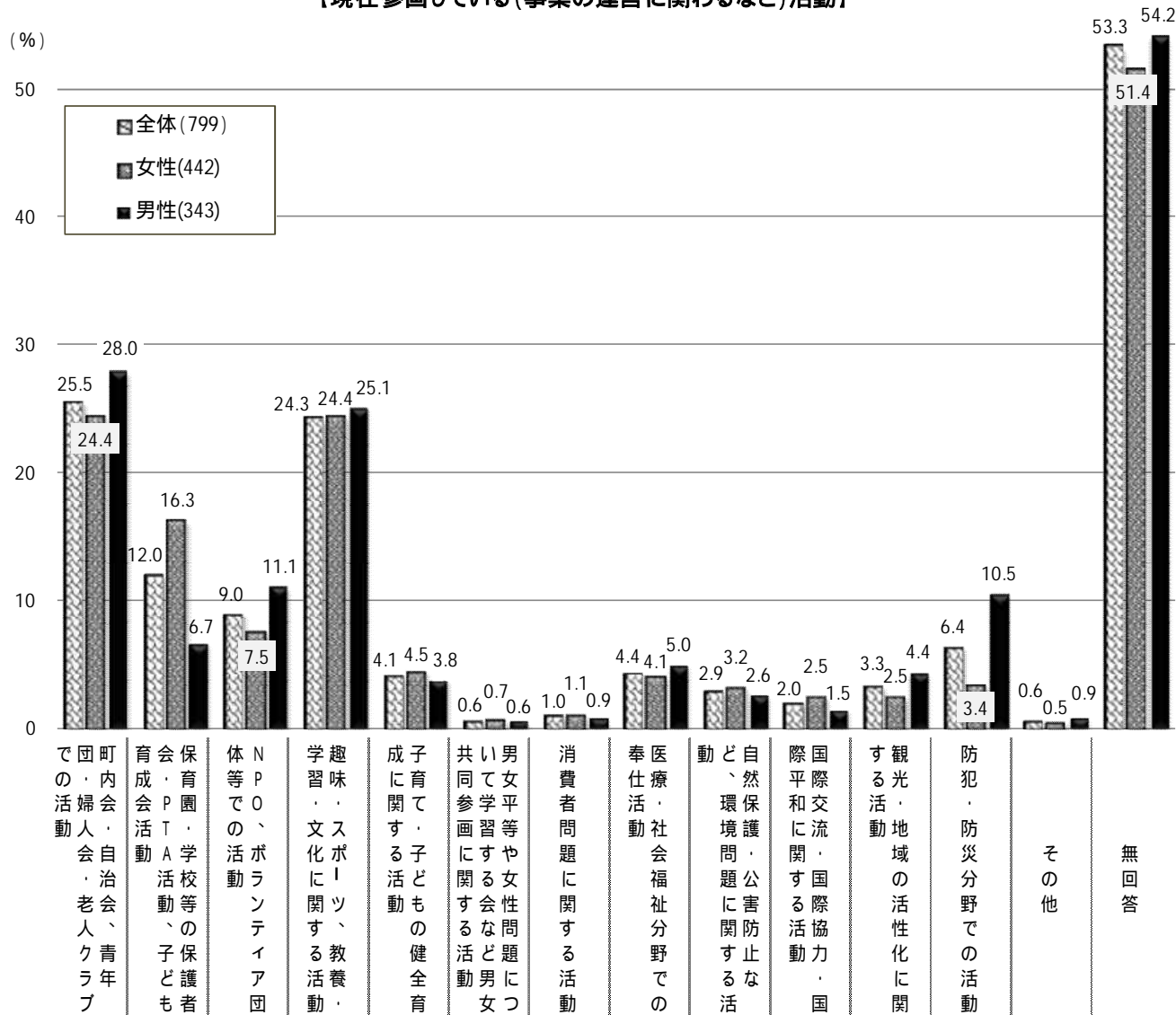


社会活動などへの参画

(3) 地域活動への参画状況、参画意向

問19. 次の(ア)～(ス)にあげる地域活動の中で、あなたが「(1)現在参画している(事業の運営に関わるなど)活動」すべてにをつけてください。

【現在参画している(事業の運営に関わるなど)活動】



地域活動の中で、現在参画している活動については、女性は『趣味・スポーツ・教養・学習・文化に関する活動』及び『町内会・自治会、青年団・婦人会・老人クラブでの活動』(いずれも24.4%)と回答している割合が最も多くなっており、次いで、『保育園・学校等の保護者会、PTA活動、子ども育成会活動』(16.3%)となっている。

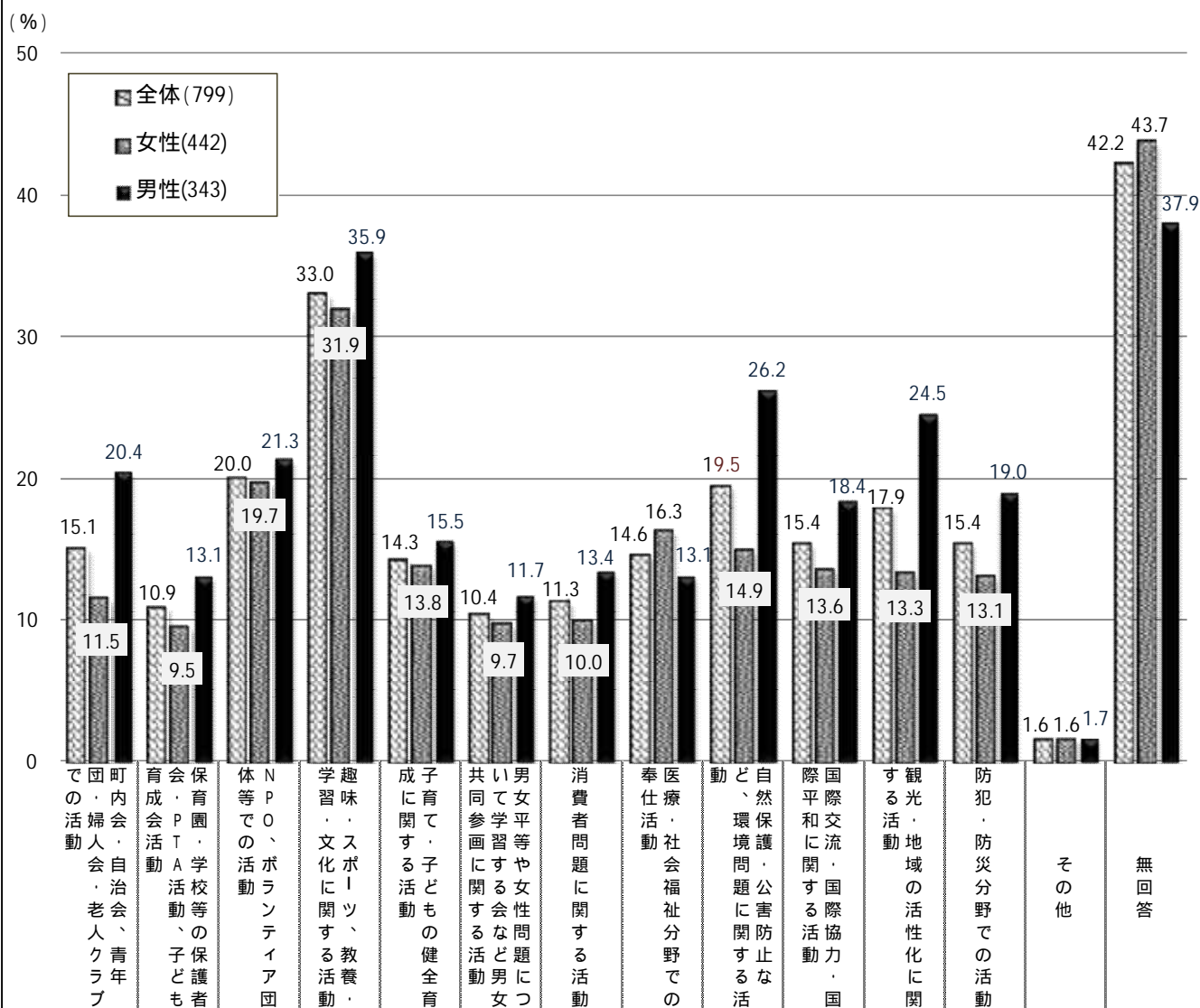
男性も『町内会・自治会、青年団・婦人会・老人クラブなどでの活動』(28.0%)が最も高く、次いで『趣味・スポーツ・教養・学習・文化に関する活動』(25.1%)となっているが、『保育園・学校等の保護者会・PTA活動、子ども育成会活動』(女性16.3%、男性6.7%)では、女性の方が9.6ポイント高く、男女差が最も大きい。

また、『防犯・防災分野での活動』(女性3.4%、男性10.5%)は、男性の方が、女性より7.1ポイント多くなっている。

社会活動などへの参画

問19. 「(2) 今後参画してみたい地域活動、または引き続き参画したい地域活動」がありましたら、すべてに をつけてください。

【今後参画してみたい、または引き続き参画したい地域活動】



地域活動の中で、今後参画したい活動については、男女とも『趣味・スポーツ、教養・学習・文化に関する活動』(女性31.9%、男性35.9%)が最も多い。

女性では、次いで『NPO、ボランティア団体等での活動』(19.7%)、『医療・社会福祉分野での奉仕活動』(16.3%)、『自然保護・公害防止など、環境問題に関する活動』(14.9%)となっている。

男性では、次いで『自然保護・公害防止など、環境問題に関する活動』(26.2%)、『観光・地域の活性化に関する活動』(24.5%)、『NPO、ボランティア団体等での活動』(21.3%)となっている。

男女差が大きいのは『自然保護・公害防止など、環境問題に関する活動』(女性14.9%、男性26.2%)の11.3ポイント、『観光・地域の活性化に関する活動』(女性13.3%、男性24.5%)の11.2ポイント、で、いずれも男性の方が多くなっている。